

Welcome to Sanolab.

Architectural Planning / Ergonomics

<http://sanolab.jp>

1

佐野ゼミで何を学ぶか？

建築人間工学 ≡ 建築・まちづくり (都市) ・インテリア+ 人間

Human Centered + Universal = Design

人のために+みんなのために→企画・提案

所属学生



早稲田大学 人間科学学術院 教授

佐野 友紀

一級建築士・博士(工学)

趣味：テニス・スキー

最近の興味：iPhone

Apple Watch

担当講義

・ (財)日本建築センター(BCJ)：防災性能評価委員

■ 建築人間工学・ ISO TC92/SC4/WG7 (委員)

■ 演習 I・II ■ 環境シミュレーション

・ 博士課程:1

・ 修士課程:1

・ 学部4年:9

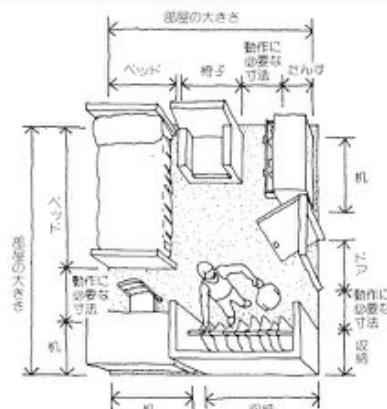
・ 学部3年:9

・ 留学:2

3

人のための建築をつくることと

- 建築をつくることは
ハコを作ることではない
- →人間と環境との関係
- 人の「容れもの」をつくる
- 建築は原則的に一品生産
- 敷地、条件に合わせて設計
- 試作・現物実験はできない
- 人、物、その関係を知る=測る



● 建築 (場所づくり) ・都市 (まちづくり) ・インテリア
に应用

エドワードアレン著, 「建物はどう働いているか」, 鹿島出版会, 1982.8, p.174, 図

Sanolab. 2年間のながれ

専門的手法の習得 実験/調査/フィールドワーク



演習
全員に1-2週間の課題が課され、毎回演習時間でその発表を行います
e.g. 群集行動の観察・分析 (グループ課題) 行動観察を通して得られたデータを分析し、その傾向や問題点・課題点を互いにレポートする。

ゼミ論文
e.g. 設計と建築模型の作成 (個人課題) 指定した条件下で、交通の設計とその建築模型の作成を行う。



人の心理と行動を知る

行動観察+心理調査=空間デザイン 演習+実習+発表

何のために卒業研究をするのか？

- 1 **安全・安心のために (防災)**
【非常時：火災・防災/ 日常時：事故・防犯】
- 2 **使いやすさのために (ユーザビリティ)**
【Human Centered Design】
- 3 **分かりやすさのために (レジビリティ)**
- 4 **新しさ(技術・理論・評価)のために**
- 5 **すべての人のために (高齢者・障害者・子供)**
【Universal Design】
- 6 **メカニズムを知るために**
【Simulation】



建築人間工学 佐野友紀研究室

(建築計画学/防災安全)

建築・都市を対象にして

人の行動と心理を知る専門的手法をまなぶ

- ・ 行動を知る
- ・ 心理を知る
- ・ 仕組みを知る

「行動観察」

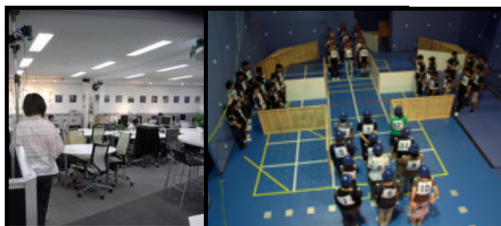
「心理調査」

「実験思考」

フィールド調査

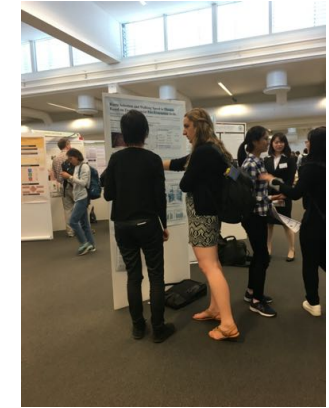
アンケート調査

シミュレーション



Sanolab. 大学院のながれ

専門的・高度な研究手法の習得・海外発表・留学
実験/調査/フィールドワーク



留学 (Lund University)

国際会議発表

4

人間科学として まなぶべきこと

建築人間工学 (建築計画学/防災安全)

- ① **実習、発表を通して、**
建築・都市での人の行動・心理を知る**専門的手法**をえる
- ② **現場を見る体験、計測、分析**→**Design** 企画・提案
- ③ **今まで知られていなかった知見**を研究としてまとめる
- ④ **学際的な (二つの研究領域に関わる) 専門性の獲得**

